



# 沢池小だより

令和3年度 6月号  
No.3(R3年(2021年)5.28)  
[発行]明石市立沢池小学校

校長 福本 悟

6月、木々の葉の緑色が濃くなるとともに、気温と湿度が急上昇する季節になってきました。緊張感の4月、大型連休の5月と経過し、少し疲れが出やすいところでの高温多湿、昨年から続くコロナ禍のストレスと健康安全には一層の配慮が必要であると感じています。子どもたちは新学年の学校生活にだいが慣れてきている様子で、朝や帰りの挨拶を大きな声で交わしてくれるようになってきました。6月以降は夏休みまでまとまった連休がありませんので、各教科学習も本格的に進んでいくことになります。じっくりと、しっかりと、学習し、学力の向上を図っていきたいと思います。

## 大きな変革期を迎えている学校教育

### ★行事の変化

昨年来のコロナ禍のために、学校のいろいろなことが大きく変わろうとしています。

まず、最も大きな変化が「学校行事」です。入学式や卒業式は来賓のご臨席、祝辞なし、在校生の出席なし、校長の式辞は簡略化して全体的に時間が短縮されています。運動会は通常イメージする運動会とは違い、全校児童が一堂に会する場面はなく、音楽会のように、学年ごとに設定された出番時間に出場して演技を行う予定です。今般、緊急事態宣言が延長される見通しとなり、行事の実施日につきましても、延期等の変更が避けられないと考えております。お知らせしている行事の日程でお仕事の都合をつけていただいている保護者の方も多しと承知しておりますが、子どもたちの安全を第一に考えながら、内容を工夫して実施の可能性を探っていきたいと考えていますので、何卒ご理解賜りますようお願いいたします。

### ★学習活動（授業）の変化

文部科学省のGIGAスクール構想のもとで、子どもたち一人に1台のタブレット端末が配備されました。テレビや新聞等では、もっぱら「リモート授業」が取り上げられていますが、それも多くあるうちの一つの使い道です。もともと一人一台端末は、大きく変化する時代に生きる子どもたちに、さまざまな学習の方法を提供するための道具として配置されました。具体的には資料（文字、映像など）に簡単に即時にアクセスできたり、友達の考えや思いが可視化され、共有したり議論したりできるなど、授業スタイルも変化していくと考えています。初めから何もかもがうまくいくというわけではないのですが、子どもたちの学びの手段が増えてきていることは確実です。未来を生きる子どもたちに必要な力をつけるべく、しっかりと取り組んでいきたいと思います。